

戦略計画 立案ガイド



ロータリーのビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

本ガイドについて

目的地にたどり着くために地図が必要となるように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには戦略計画が必要となります。ロータリーで実施した調査によると、戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブでは、そうでないクラブと比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。

長期的な優先事項と、クラブの戦略的ビジョンを支える年次目標を立てるために本ガイドをご利用ください。本ガイドは、ロータリークラブとローターアクトクラブによる使用を想定した資料ですが、地区にとっても役立つ資料となります。

戦略計画立案プロセスの概要

第1段階： 現状分析 クラブの現状は どうか？	第2段階： ビジョンの作成 どのようなクラブになり たいのか？	第3段階： 計画の作成 どのようにビジョンを 実現できるか？	第4段階： 進捗の確認 目標への進み具合は どうか？
<ul style="list-style-type: none">• 取り組むべき戦略的課題を特定する• クラブの長所と短所を把握する• 会員の満足度とニーズを調べる• 地域社会にある機会と課題を特定する	<ul style="list-style-type: none">• クラブが実現したい特徴を5~7つ挙げる• ビジョン声明をつくる	<ul style="list-style-type: none">• 戦略的優先事項を定める• 年次目標を立てる• 活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる	<ul style="list-style-type: none">• 年次目標に向けた進捗を確認する• 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する• 行動計画を見直し、調整する

はじめよう

- 元・現・次期クラブリーダーから成る戦略計画立案チームを編成し、クラブの目標達成を支える計画を立てる。
- ロータリアンではない人やローターアクター、またはリーダーの役割を担っていないクラブ会員に、戦略計画立案会議の進行をしてもらう。
- さまざまな意見を集めるために、多様な経験や専門知識を有するクラブ会員に参加してもらう。
- ロータリーの公式な戦略計画のビジョンを反映させたクラブのビジョンを作成する。
- 地区およびロータリーの戦略計画に沿ったクラブ目標を立てる。

第1段階:現状分析 — クラブの現状はどうか?

クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

- 会員からの意見を基にクラブの長所と短所を特定する。
- 地域社会のリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する。

戦略的課題の特定

クラブで取り組みたい重要な課題や問題は何ですか。戦略的課題とは、戦略計画の立案を促すものであり、具体的な解決策や決定を必要とするものです。戦略計画においてどのような課題に取り組みたいのかを考えましょう。

会員に次のような質問を尋ねてみましょう。

- 会員を増やし、現会員の積極的な参加を促すために、何ができるでしょうか。
- 多様な人の関心を引きつけるために、何ができるでしょうか。
- 地域社会の多くの人にクラブの活動に参加してもらうために、何ができるでしょうか。



ヒント

方向性を定めるために、これまでのクラブの戦略計画を参考とし、「[クラブの健康チェック](#)」を利用して現状を分析するとよいでしょう。

戦略的課題

長所と短所

クラブで何がうまく行っているか（長所）、行っていないか（短所）を挙げてみましょう。

長所

短所

ヒント

より魅力的な体験ができるクラブとするために、会員満足度調査を実施して、クラブの長所と短所を見つけてみましょう。

地域社会にある機会と課題の特定

地域社会にある機会を挙げ、それをクラブの活動にどう取り入れられるかを考えてみましょう。このプロセスを通じて、これまでに地域社会にはなかった職種やグループを見つけたり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングの機会を見つけることができるでしょう。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地域社会の課題も挙げましょう。

機会

課題

第2段階: ビジョンの作成 — どのようなクラブになりたいのか?

クラブの特徴

ロータリーのビジョン声明では、「持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する」ことを求めています。このビジョンを実現するために、3～5年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみましょう。例: 楽しい、奉仕志向、革新的、地域社会の人口を反映している、など。

特徴

ビジョン声明

ビジョン声明とは、未来に実現したいことを定義し、クラブの理想像を目指すための方向性を定めるものです。前項で挙げたクラブの特徴を参照しながら、戦略計画立案チームと一緒に一文のビジョン声明を書いてみましょう。

次のような質問について考えてください。

- クラブは3～5年後にどのようなになっているか。
- クラブの成功はどのようなかたちで現れるか。
- 何を達成したいか



ビジョン声明は、クラブ会員の思いを汲んだ内容とする必要があります。例: 「私たちのビジョンは、地元の若者をサポートする奉仕クラブとして認識されることです」

ビジョン声明

第3段階：計画の作成 — どのようにビジョンを実現できるか？

戦略的優先事項

クラブの戦略的優先事項は、ビジョンの達成を支えるもので、「どのように達成するか」という問いに答えるものです。クラブがビジョンを目指す上で最も大きな成果をもたらせる戦略的優先事項を検討しましょう。

戦略的優先事項を練る際は次のことを考えてください。

- ロータリーのビジョン声明と[戦略計画](#)
- クラブの長所と短所
- 地区の目標
- 地域社会にある機会と課題
- クラブ会員の意見
- 3～5年以内に達成できること

戦略的優先事項

年次目標

戦略的優先事項を設定したら、それを達成するための年次目標を立てます。

戦略的優先事項を書いたら、そのための年次目標、実行項目、必要なリソース・人材、担当する会員、達成期日を記入してください。目標を設定し、目標達成への進捗を確認するには、[ロータリークラブ・セントラル](#) を活用できます。



「誰が」
「何を」「いつ」
「どのように」という
点が明確で、測定可能な
目標を立てます。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

第4段階:進捗の確認 — 目標への進み具合はどうか?

進捗の確認

戦略計画立案チームと年次目標への進捗を確認し、必要に応じて行動計画に修正を加えましょう。新しい方法を取り入れたり、より多くのリソースを使用したりすることを検討し、進捗を確認する際は次の問いを検討しましょう。

- どのくらいの頻度で、目標達成に向けた進捗を確認しますか。
- どのように進捗状況をクラブ会員に伝えますか。
- 誰が行動計画や年次目標への変更を承認しますか。

ヒント



目標への進捗を確認するために、[ロータリークラブ・セントラル](#)を活用しましょう。

目標に向けた進捗確認の計画

見直しと調整

進捗を確認する際は、達成されていない目標とその理由を含め、目標の一覧を作りましょう。必要となる調整と、未達成の目標を満たすための実行項目を決定してください。

未達成の目標について検討する際は、次の質問について考えてください。

- 達成された目標は何か。
- 未達成の目標は何か。
- 達成できなかった主な理由は何か。
- 達成するためにどのような調整が必要か。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	達成 / 未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	達成 / 未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	達成 / 未達成	未達成の理由	行動計画への調整

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	達成 / 未達成	未達成の理由	行動計画への調整